

## 基本情報

事業所番号	2891500080
法人名	社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団
事業所名	五色グループホーム
所在地	洲本市五色町都志大日707 電話0799-33-1117


【情報提供票より】平成 31 年 1 月 30 日事業所記入

### (1) 組織概要

開設年月日	平成21年4月1日		
ユニット数	2ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤5人 非常勤4人常勤換算6.5人	

### (2) 建物概要

建物構造	併設型
	鉄筋コンクリート造り2階建ての一階部分

### (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	15,000~20,000円	その他の経費(月額)		円
敷金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無し	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	150 円	昼食	400 円
	夕食	400 円	おやつ	50 円
	または1日当たり円 1,000円			

### (4) 利用者の概要( 月 日現在)

利用者人数	9名	男性	1名	女性	8名
要介護1	1名	要介護2	5名		
要介護3	3名	要介護4	名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 87.7 歳	最低	74 歳	最高	96 歳

### (5) 協力医療機関

協力医療機関名	洲本市国民健康保険五色診療所 亀山歯科
---------	---------------------

(様式2(1))

事業所名 五色グループホーム

## 目標達成計画

作成日: 平成31年 4月 1日

目標達成計画は、自己評価及び第三者評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	近隣の店への買い物外出や月1回のお話し隊ボランティアの来訪、本体施設での交流行事に参加しているが、建物自体が高台にあるため、地域住民との交流が少ない。	地域の方との交流の機会を増やし、広報活動を行うことで、五色グループホームのことを知ってもらう。	①ボランティアの受け入れを年12回行う。 ②お茶会を開催し、他施設との交流を年10回以上行う。 ③地域の保育所へ広報誌の配布を行うなどし、交流を行う。 ④年4回広報誌を作成し、近隣のスーパーや図書館、病院等に配布する。	12ヶ月
2	4 (3)	運営推進会議は2ヶ月に1回実施しているが、現在は関係者の間で情報の共有ができていない。また、地域の方の参加が少ない。	地域の関係部署に会議や防災訓練に参加してもらう。	①運営推進会議の時に消防署や警察署の出席を依頼する。 ②家族に運営推進会議の会議録を配布する。	12ヶ月
3	8 (7)	権利擁護の制度やターミナルケアなど今後の施設生活で必要になる知識を得ていく必要がある。	職場内外の研修への参加し、伝達研修を行うことで、職員全体の資質向上を図る。	①本体施設や外部で行う研修に参加し、施設内で伝達研修を行う。	12ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。

(様式2(2))

## サービス評価の実施と活用状況(振り返り) 五色グループホーム

サービス評価の振り返りでは、今回の事業所の取り組み状況について振り返ります。「目標達成計画」を作成した時点で記入します。

【サービス評価の実施と活かし方についての振り返り】	
実施段階	取 り 組 ん だ 内 容 ( ↓ 該当するものすべてに○印 )
1 サービス評価の事前準備	<input type="radio"/> ①運営者、管理者、職員でサービス評価の意義について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者へサービス評価について説明した
	<input type="radio"/> ③利用者家族へサービス評価や家族アンケートのねらいを説明し、協力をお願いした
	<input type="radio"/> ④運営推進会議でサービス評価の説明とともに、どのように評価機関を選択したか、について報告した
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
2 自己評価の実施	<input type="radio"/> ①自己評価を職員全員が実施した
	<input type="radio"/> ②前回のサービス評価で掲げた目標の達成状況について、職員全員で話し合った
	<input type="radio"/> ③自己評価結果をもとに職員全員で事業所の現状と次のステップに向けた具体的な目標について話し合った
	<input type="radio"/> ④評価項目を通じて自分たちのめざす良質なケアサービスについて話し合い、意識統一を図った
	<input type="radio"/> ⑤その他( )
3 外部評価(訪問調査当日)	<input type="radio"/> ①普段の現場の具体を見てもらったり、ヒアリングで日頃の実践内容を聞いてもらった
	<input type="radio"/> ②評価項目のねらいをふまえて、評価調査員と率直に意見交換ができた
	<input type="radio"/> ③対話から、事業所の努力・工夫しているところを確認したり、次のステップに向けた努力目標等の気づきを得た
	<input type="radio"/> ④その他( )
4 評価結果(自己評価、外部評価)の公開	<input type="radio"/> ①運営者、職員全員で外部評価の結果について話し合った
	<input type="radio"/> ②利用者家族に評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ③市区町村へ評価結果を提出し、現場の状況を話し合った
	<input type="radio"/> ④運営推進会議で評価結果を報告し、その内容について話し合った
	<input type="radio"/> ⑤その他( ②については5月発送のお便りで報告予定 )
5 サービス評価の活用	<input type="radio"/> ①職員全員で次のステップに向けた目標を話し合い、「目標達成計画」を作成した
	<input type="radio"/> ②「目標達成計画」を利用者、利用者家族や運営推進会議で説明し、協力やモニター依頼した(する)
	<input type="radio"/> ③「目標達成計画」を市町村へ説明、提出した(する)
	<input type="radio"/> ④「目標達成計画」に則り、目標をめざして取り組んだ(取り組む)
	<input type="radio"/> ⑤その他( )